

学校だより

友 愛



令和4年度 No. 11
川越市立福原小学校
令和5年1月10日

【学校教育目標】・かしこく・やさしく・たくましく

「良き伝統の中に流れる「友愛」の絆を大切に
心広く大らかな児童の育成」

◎1月の生活目標

・手あらい・うがいをしよう

新春を迎え、新しい年のスタートをポジティブ思考で前向きに！

校長 三上 正明

あけましておめでとうございます。

保護者の皆様、地域の皆様におかれましては、健やかに新春をお迎えのことと存じます。本年も、福原小教職員一同は、学校教育目標である『かしこく やさしく たくましく』の具現化を目指して、日々の教育活動に尽力して参りますので、より一層の御理解・御協力を賜りますよう御願ひ申し上げます。



さて、毎年感じる不思議な感覚ですが、大晦日の夜から元旦の朝に変わると世の中の雰囲気ガラッと一気に明るくなります。おめでとうの言葉が飛び交い、たくさんの方がこぞって願いごとや決意を伝えるに初詣に行きます。そんな世の中の空気を感じてか、自分の気持ちも何だか急に明るくなって、前向きになります。一晩寝ただけで何かやったわけでもないのに、こんなに気の持ちようが一変するのは一体どういうことなのか。「年明け」には言葉ではうまく説明できない不思議な力があるように思えてなりません。理由はともかく、このような雰囲気を社会全体で味わえるのは一年に一度だけです。この際、利用しないという手はありません。思い切って昨年までのうまくいかなかったことは全て忘れて、ポジティブ思考で考えるのもいいかも知れません。「今年はこんなことに挑戦したい！こんなことができるようになりたい！こんな人になりたい！・・・」、あれもこれもと思いを巡らし、神様にお願いするだけでなく、自分の夢や希望を声に出して周りのいろいろな人に話してみると、その実現に向けた第一歩が踏み出せるように思います。お正月はポジティブに新たな一歩を踏み出す絶好の機会です。世の中の前向きな明るい雰囲気が後押しをしてくれますから・・・。

まだまだコロナ感染の心配がなくなったわけではありませんが、ものごとは前向きに考えたほうが得ですし、その方がいろいろなことがうまく回っていくことが多いように感じます。前を向いて目標を高く掲げていくことを是非お勧めします。

ところで、年明けの1月には、「新春」という言葉がいろいろなところで使われています。まだまだ外はとても寒く、体感的には春というよりむしろ真冬に向かっている感じですが、私はそれでもなお「新春」という言葉が、この明るく前向きなお正月にぴったりだと思っています。今は、まだ「立春」よりもひと月ほど早いのですが、冬至を過ぎてから太陽は着実に高くなってきていますし、日も伸びてきています。



その変化を感じながら、桜は3月、4月に咲くための準備をもう始めています。今は、まだ小さな蕾ですが、暖かい日が来たら一斉に咲くために、寒い今のうちから少しずつ準備を始めているのです。そう考えると、新年を迎えた1月を「新しい春」として感じ、「新春」という言葉で表すことは、とても素敵なことだと思います。そして、このこともまた、年明けに私が感じる明るく前向きな空気感と関係があるのかも知れません。

いよいよ令和5年の新春を迎えました。「ポジティブ思考で前向きに！」、福原小の児童一人一人が目標を高く掲げ、それぞれの花を咲かせることを夢見て、一步一步着実に前進していけるよう支援して参ります。本年もどうぞよろしくお願ひいたします。